

「武庫川国文」第86号 抜刷

平成31年3月20日 発行

2018年度日本語教育関連活動の報告

上 田 和 子
野 畑 理 佳

2018 年度日本語教育関連活動の報告

上 田 和 子、 野 畑 理 佳

武庫川女子大学日本語日本文学科では、日本語教育関連科目を開講しており、その中で学内外の協力者とともに様々な活動を行っている。本稿では 2018 年度における本学科日本語教育関連活動を記録し報告する。

目次

1. 新カリキュラムに関連する日本語教育実習の変更
2. 日本語学校見学
3. 学外日本語教育実習
4. さまざまな交流会
5. おわりに

1. 新カリキュラムに関連する日本語教育実習の変更

日本語日本文学科では、2015 年度より新カリキュラムを実施している。日本語教員資格認定の必修科目のうち、教育実習に関するものは従来どおり「日本語教授法実習」(1 単位、学内)であるが、学外実習についてはあらたに「日本語教育インターンシップ」を科目としてたてている (2 単位、3 年次履修)。2017 年度から大日 (本学日本語日本文学科の略称、以下大日とする)3 年生の同科目履修が開始したが、当時 4 年生は旧カリキュラム履修者で、新旧カリキュラムが並行していた。その時期を経て 2018 年度は、全学年が新カリキュラムで履修する「日本語教育インターンシップ」の初年度となる。履修者 18 名全員大学 3 年生である。学外教育実習実施については、従来と異なる点も生じたが、受け入れ各校の協力を得て行うことができた。

日本語教育実習関連科目で変更があったのは以下の 2 点である。

- ・「日本語教授法実習」(1 単位、必修)の開講学年を 4 年生から 3 年生に移行
- ・4 年次に任意実施としていた学外日本語教育実習は、それを受け継ぐ形で「日本語教育インターンシップ」として開講 (2 単位、選択) し、実習実施は 3 年次夏季休暇中に移行

2. 日本語学校見学

2-1 概要

2018 年度に始めた活動として日本語学校見学がある。これは「日本語教育インターンシップ」履修学生が授業の合間に日本語学校に赴き授業見学するもので、目的は教育現場の実態に触れ、日本語学習者に関する見聞を深め、実習に向けての心構えを含めた準備を行うこ

とである。多くは実際の実習先に赴いた。国外実習生は大阪 YMCA 国際専門学校を見学した（表 1）。

表 1：学校見学の概要

	見学先	時期	授業内容	インターン（人数 x 組）
1	大阪 YMCA 国際専門学校	5 月～7 月	初級、中級	16 名（1～4 名 x 6 組）
2	東京国際ビジネスカレッジ神戸校	6 月	中級	1 名（1 名 x 1 組）
3	インターカルチャー国際語学学院	7 月	初級	1 名（1 名 x 1 組）
	合計 3 校、インターン数 18 名、のべ 8 回			

2-2 活動の流れ

日本語学校見学に先立って、大学での授業では準備として注意点を実習生に与え（表 2）、その後教育現場の見学、その振り返りという流れで実施した（表 3）。

表 2：学校見学の注意点

授業見学の主な注意点
①「職場」を訪問させていただく、ということを常に頭に置いておくこと！遊びではありません。
② 名札に名前を書いて（姓、名を裏表、ひらがなで）持参する。
③「授業見学記録」用紙を持っていく→記入後、提出。
④ 遅刻厳禁！
⑤ 授業だけでなく、日本語学校の様子や先生方の働きぶりを見学させていただくこと。
⑥ 先生方の「日本語」に注目、傾聴すること。
⑦ 4 時間以上教室に滞在するので、事前に食事を摂っておくこと。飲み物持参。

表 3：学校見学の流れ

(1) 大学の授業で：見学校の振り分け、準備など	
(2) 日本語学校で：(例)	
08：20	大阪 YMCA 国際専門学校到着
08：30	① 7 階、日本語学校へ移動→ご担当の主任教員に挨拶
	② 授業見学の流れについて説明を受ける（担当教師、クラス、教材、進度など）
08：50	③ 職員朝礼で先生方に挨拶をかねて「自己紹介」する。
08：55	④ 各教室に分かれて参観→教室で学生に「自己紹介」→着席して見学 →見学しながら「授業見学記録」をつける。
09：00	⑤ 1、2 限：初級
11：00	⑥ 3、4 限：中上級など
12：50	⑦ 見学後、主任教員と振り返り。→「見学記録」を提出→終了、解散。

(3) 大学の授業で：学校見学の振り返り

①実習生（履修者）は各自、授業で気づいた点を各クラス5つずつ挙げておく。

②実習生同士でディスカッションする。

③自分の実習にどのように生かすかについて考える。

3. 学外日本語教育実習

2018年度より、「日本語教育インターンシップ」履修学生が学外実習に参加した。履修者は全員大日3年生で、国内9名、国外（韓国）9名の合計18名である。

3-1 国内実習

国内3機関に9名のべ5回の実習を受け入れていただいた。実習先は(1)～(3)のとおり。

(1) 大阪 YMCA 国際専門学校（大阪市西区）

・2018年8月8日～10日 3名

・2018年8月22日～24日 2名

・2018年8月27日～29日 2名

(2) インターカルチャー国際語学学院（神戸市長田区）

・2018年8月8日～10日 1名

(3) 東京国際ビジネスカレッジ神戸校（神戸市中央区）

・2018年8月20日～24日 1名

※8月24日は台風で実習先休校となったため、11月5日に補講として再度赴いた。

3-2 国外実習

国外実習として例年どおり、韓国のハンナム大学校に実習を受け入れていただいた。今年度参加者は9名である。また、期間中に国立ハンバット大学校日本語学科を訪問し、交流会を実施した。

3-2-1 概要

実習先：ハンナム（韓国）大学校、日語日文学科（韓国大田広域市）

期間：2018年8月20日～25日

参加者：「日本語教育インターンシップ」履修者のうち9名（大日3年生）

引率者：設楽馨講師、濱野綾香助手

3-2-2 国外実習の流れ

国外実習に伴う活動は、①実施前の準備と②実習中、③実習後に分かれる。2018年度の活動は以下のとおりである。

①実習前の準備

5月	参加者決定 ⇒派遣校との交渉（担当分けなど） 「日本語教育インターンシップ」履修登録
6月	実習生は、派遣先の指導者に自己紹介メールを出して挨拶すること
7月	教案作成：受け入れ校の指導者とのやりとり 旅行社との手続（同意書、旅行保険など） 「臨時学費（20,000円）」納入、自己負担金は金額確定後に支払い
8月	事前準備（自主勉強会）

②実習中

8月													
20日（月）	関空集合⇒ソウルへ⇒バスで大田市へ⇒大学到着後、歓迎会 大学キャンパス内宿泊												
21日（火）～22日（水）	日本語教育実習（初級、中上級）												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th><th>日程</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9：00～10：00</td><td>授業準備</td></tr> <tr> <td>10：00～11：50</td><td>研究授業・授業見学</td></tr> <tr> <td>12：00～13：00</td><td>昼食</td></tr> <tr> <td>13：00～14：50</td><td>研究授業・授業見学</td></tr> <tr> <td>15：00～</td><td>反省会・授業準備</td></tr> </tbody> </table>	時間	日程	9：00～10：00	授業準備	10：00～11：50	研究授業・授業見学	12：00～13：00	昼食	13：00～14：50	研究授業・授業見学	15：00～	反省会・授業準備
時間	日程												
9：00～10：00	授業準備												
10：00～11：50	研究授業・授業見学												
12：00～13：00	昼食												
13：00～14：50	研究授業・授業見学												
15：00～	反省会・授業準備												
23日（木）	午前：国立ハンバット大学校訪問等、午後：自由行動												
24日（金）	午前：演劇練習の補助、ハンナム大学校学生との交流 午後：自由行動 ※後述												
25日（土）	大田（リムジンバス）⇒仁川空港 ⇒関空着、解散												

③実習後

9月	実習終了後、受け入れ機関からの評価票受け取り 受け入れ先からの評価票をもとに、実習生と振り返りの時間を持つ 実習生はその後、参加レポートを提出→実習の終了
----	---

3-2-3 ハンナム大学校の参加学生

ハンナム大学校は、実習期間中は夏季休暇であるので、事前にボランティア学生を募集する。希望学生は授業参加と本学学生の世話係である「チューター」として参加している。ボランティア学生の内訳は以下のとおり。

- ・初級クラス ：1年生8名
- ・中・上級クラス ：1年生5名、2年生1名、3年生2名（合計8名）
- ・チューター ：9名（3年生4名、4年生5名）

3-2-4 実習スケジュール

教育実習期間中、実習生は一人あたり4コマ(50分x4)の授業を行った(表4)。

表4：実習のスケジュール

日時	8月21日(火)		8月22日(水)	
クラス	初級	中・上級	初級	中・上級
時限\教室	40401	40402	40401	40402
1 9:00	授業準備		授業準備	
2 10:00	A・B	E・F	G・H・I	C・D
3 11:00	A・B	E・F	G・H・I	C・D
4 12:00	昼食		昼食	
5 13:00	C・D	G・H・I	E・F	A・B
6 14:00	C・D	G・H・I	E・F	A・B
7 15:00	反省会・授業準備			

注：表中のA～Iは実習生

3-2-5 その他

実習終盤となる2018年8月23日より、大型台風が韓国を襲った。そのため、現地学生は登学困難となり、受け入れ大学の判断で最終日のすべての活動は取りやめ、実習生は宿舍待機となった(※②実習中)。判断が出されたのは8月23日夜、24日が待機日、台風一過の25日が帰国日である。「自然災害によるものなので了承してほしい」との知らせが23日夜に国内待機中の筆者の元にも届いた。2018年度は日本国内でも多くの自然災害が発生しており、状況は理解できるものだった。「10年以上教育実習受け入れをしてきたが、このような事態は初めてのことだ」というハンナム大学校側のことが印象に残った。

不測の事態というものは常に起こりうるが、今後の実習等の諸活動実施においても念頭に入れておかねばならないと再認識させられた。急場の判断、対応をいただいたハンナム大学校関係者各位に、あらためて謝意を表したい。

4. さまざまな交流会

2018年度、いくつかの団体との交流会を実施した。学内での訪問者の受け入れと学外への本学学生の訪問とがある(表5)。時系列に従って報告する。

表5：主な交流活動

時期	学内活動・交流相手	学外活動・訪問先
2018年5月	-----	外交官・公務員日本語研修「感謝祭」
7月	留学生ゲストスピーカー	-----
7月	日本語学校留学生	-----
7月	本学短期留学生	-----
10月	-----	大阪市内日本語学校訪問
2019年1月	外交官・公務員日本語研修生	-----

4-1 外交官・公務員研修「感謝祭」参加

2018年5月18日（金）、各国若手外交官・公務員の8か月間にわたる日本語研修修了時に「感謝祭」が開催され、学生有志3名（大日2年生）が参加した（国際交流基金 関西国際センター、大阪府泉南郡田尻町）。外交官・公務員のうち21名が2018年1月に本学を来訪、大日学生らとともに交流会を行っている。それから5か月ほどが過ぎ、すっかり上達した日本語を駆使して自国紹介スピーチなどが行われた。久しぶりに再会を果たした学生たちによると、ホールには研修生の書道作品の他に、俳句、詩の掲示もあり、中でも各国研修生が日本語で谷川俊太郎の「生きる」をもとにつづった作品には、込められた思いが読み取られ、特に感銘を受けたという。

実施日	：2018年5月18日（金）13：15～16：30
訪問先	：国際交流基金 関西国際センター、外交官・公務員日本語研修「感謝祭」
参加学生	：大日2年生有志3名
内容	：①スピーチ発表会に参加、質疑応答、②各国紹介展示ブースの見学、茶話会等

4-2 留学生ゲストスピーカー

「日本語教育学入門」（担当：上田、履修者：大日1年等44名）に日本語学校から留学生7名をゲストスピーカーとして迎えて交流会を行った。留学生は出身別のグループに分かれて「ふるさと紹介」のスライドを準備し、それに基づいて日本語で発表を行った。その後、小グループに分かれて発表内容などに即したやり取りを行い活発な時間を過ごした。いずれも留学年数は短い、20歳前後の若者なので、本学学生との活動に互いが刺激を受けることができた。

実施日	：2018年7月18日（水）13：05～14：35
来訪者	：留学生7名（中国、台湾、香港、韓国）
参加学生	：「日本語教育学入門」大日1年生他
内容	：①全体で自己紹介、②グループワーク：日本語学習、留学生生活等

4-3 日本語学校留学生

西宮市内にある日本語学校から大勢の留学生の来訪があり、交流会を実施した。日本の大学への進学を目指す留学生も多数含まれていたため、学内見学ツアーは、大学生活を想像し目的意識を高めることにつながったようだ。「日本語教授法」(担当：野畑、履修者 89 名)授業内では、履修者に会話でよく使われる表現をどう指導するかグループごとに考え、実際に指導してもらう時間を含んだ。

実施日	：2018 年 7 月 20 日（金） 9：45～11：50 （1 限および 2 限目）
交流相手	：神戸国際語言学院（兵庫県西宮市）留学生 67 名 （ベトナム、中国、インドネシア、バングラデシュ、ミャンマー、ネパール）
参加学生	：「日本語教授法」大日 2 年生他
内容	：①学内見学ツアー：「演習Ⅰ」（野畑ゼミ）履修者のうち 11 名が実施 ②「日本語教授法」（2 限目）授業で自己紹介や日本語での会話などグループ活動を実施

4-4 本学短期留学生

本学協定校から短期留学プログラム（Study in Japan 2018、国際センター）に参加している留学生をゼミに迎え、交流活動を行った。2 ゼミへの参加なので、それぞれ特色ある活動となるよう工夫した。

①上田ゼミ	
実施日	：2018 年 7 月 3 日（火）14：50～16：20（4 限目）
交流相手	：Study in Japan 2018 参加者 13 名（アメリカ、オーストラリア、台湾）
参加学生	：「演習Ⅰ」履修者 14 名
交流内容	：日本語での会話、show and tell など
②野畑ゼミ	
実施日	：2018 年 7 月 13 日（金）9：00～10：30（1 限目）
交流相手	：Study in Japan 2018 参加者 13 名（アメリカ、オーストラリア、台湾）
参加学生	：「演習Ⅰ」履修者 15 名
交流内容	：ゼミ生による日本の生活文化紹介、日本語での会話、留学生による作文紹介

4-5 日本語学校訪問

例年、文化祭前夜の金曜日に大日 3 年生が日本語学校を訪問している。今年度は上田ゼミと野畑ゼミの有志 12 名が参加し活動を行った。日本語学校訪問の目的は、大学生活ではほとんど接触することがない留学生との時間を持つことで、実際に学ばれている日本語や日本留学に対する彼らの目的などを実感することにある。また学生たちは多文化交流活動を運営する経験から多くの学びも得ている。

実施日 : 2018 年 10 月 19 日 (金) 13:00~16:00
 交流相手 : 大阪 YMCA 国際専門学校の留学生 17 名
 参加学生 : 「演習Ⅰ」履修者 12 名 (上田ゼミ 9 名、野畑ゼミ 3 名)
 交流内容 : 日本語によるゲーム、フリートーク等、ゼミ生による企画、運営等

4-6 各国外交官・公務員日本語研修参加者

冬季休暇中に各国外交官・公務員日本語研修参加者を本学に迎える活動は、2018 年度で 4 回目を迎える。ゲストは 2018 年 9 月に来日し、日本語研修を受けている最中の各国若手外交官・公務員で、日本語学習歴は短い、目的を持った成人学習者である。本学学生にとって、22 か国の学習者とじかに接することができる貴重な機会となっている。一方、ゲストの方々にとっては、習った日本語を活用してコミュニケーションをとる実践の場でもあり、互いの学びに資することができる活動になっている。

ただし、冬期休暇中の活動なので、参加者は希望者を募り任意としている。新年早々ではあったが多くの学生の参加があり、今年度も熱気あふれる活動を実施することができた。

実施日 : 2019 年 1 月 5 日 (土) 10:30~12:30 (1~2 限目)
 交流相手 : 国際交流基金 外交官公務員研修参加者 22 か国 22 名
 (マレーシア、ミャンマー、パプアニューギニア、ハイチ、コロンビア、
 アルメニア、エチオピア、ガーナ、ガボン、コンゴ共和国、タンザニア、
 ベナン、マリ、南スーダン、ラオス、ジョージア、ジンバブエ、ガイアナ、
 ナミビア、マケドニア、モンゴル、タジキスタン)
 参加学生 : 「演習Ⅰ」(上田)、「異文化コミュニケーション」(上田)、
 「日本語教材研究Ⅰ」(野畑)、それぞれの履修者のうち 44 名
 交流内容 : 日本語での会話、文化紹介、コミュニケーションゲームなど

5.おわりに

教室を超えた学内外における様々な活動は、本学の日本語教育プログラムにとって、きわめて重要な意味を持つ。そのための調整に時間と労力を割かなければならないのは言うまでもないが、それを支える発想力が今後も鍵となると考えている。学科学部学院の支援を得て更新し続けたい。

以上